プレスリリース

Genedata、完全統合型 Electronic Lab Notebook を発表。バイオ医薬品 R&D の加速を支援

新たな ELN が、R&D ワークフロー全体で実験のコンテキストと構造化された科学データをつなぎ、より迅速で的確な意思決定を支える AI 活用基盤を構築

スイス・バーゼル、2026 年 10 月 28 日 – バイオ医薬品の研究開発へ向けたエンタープライズソフトウェアソリューションを開発・提供するグローバルリーダーであり、ダナハーコーポレーションの事業会社である Genedata はこの日、Genedata プラットフォームに直接統合された電子実験ノート（ELN）を発表しました。本 ELN は、創薬から開発に至るまで、実験の背景情報と科学データをシームレスにつなぎます。これまで分散していた情報を一貫した科学的記録として統合することで、バイオ医薬品 R&D チームによる知識の蓄積・継承、より確かな情報に基づく意思決定、そしてイノベーションの加速を支援します。

従来の ELN とは異なり、Genedata の ELN は R&D プロセスにダイレクトに統合されており、抗体など従来のバイオ医薬品に加え、より複雑な ADC、二重特異性抗体、細胞・遺伝子治療、そしてペプチドなどのモダリティにおいて、創薬から開発までのエンドツーエンドのワークフローをサポートします。Genedata の実績あるデータモデルを基盤として、プラットフォーム上ですでに管理されている分子、サンプル、プロセスパラメータ、アッセイおよび分析結果に直接リンクすることで、手作業によるデータ転送を削減し、アプリケーション間のデータの不整合を解消します。実験記録は、分子設計、分子生物学、スクリーニング、エンジニアリング、発現、精製、分析から、アップストリームおよびダウンストリームのプロセス開発、製剤開発、分析法開発に至るまで、候補分子の一連の開発履歴と紐づいた状態で保持されます。これにより、R&D ライフサイクル全体を通じて一貫性とトレーサビリティのあるデータを研究者と AI システムに提供します。

Genedata President の Othmar Pfannes（Ph.D.）は、次のようにコメントしています。「バイオ医薬品のパイプラインが複雑化する中、ますます多様化するワークフロー全体を通じて、意思決定に必要な情報と実験の背景情報を結びつけることが不可欠です。従来の ELN は独立したシステムとして運用されるため、知見が分散してしまうという課題がありました。私たちは、基盤となるデータ構造、科学的概念、メタデータを整合させることでこの課題を解決し、情報を一貫した形で検索、分析、再利用できるようにするとともに、AI アプリケーションでも活用できるようにしました。」

Genedata ELN では、実験情報をサンプルの識別情報、特性、系譜、保管場所と紐づけて管理できます。また、統合された LIMS およびラボワークフロー実行機能により、社内ラボ、共有研究施設、CRO、CDMO にまたがるリクエストやタスクを一元的に管理します。さらに、ラボおよび IT システム、装置、ロボティクスとの連携により、手作業によるデータ処理をさらに削減し、実験の実行とその記録をより密接に結びつけます。

Genedata プラットフォーム全体で、ELN、LIMS、サンプル管理、登録、ラボワークフロー実行を統合することで、データインテグリティを確保しながら、R&D の効率を向上させます。これにより、組織全体でより一貫性のある業務遂行が可能となり、実験設計から結果の取得、意思決定までをシームレスにつなぐことができます。過去の研究成果を容易に振り返ることができ、組織に蓄積された知識を確実に継承できるほか、プロジェクトの引き継ぎも容易になります。さらに、この統合された環境により、分散したシステムを連携させるためのコストや複雑さを伴うことなく、データサイエンス、予測モデリング、自動化、AI を活用した取り組みを推進できます。

Genedata President の Othmar Pfannes（Ph.D.）は、さらに次のようにコメントしています。
「Genedata が提供するのは、単なる新しい ELN ではありません。私たちは、AI 時代に ELN がどうあるべきかを根本から見直しています。構造化されたデータとワークフローを実験の背景情報とネイティブに統合し、一つの科学的記録として管理することで、このプラットフォームは、AI が直接活用できる共通のデータ基盤を提供し、それを土台として R&D 全体で統一されたユーザーエクスペリエンスを実現します。」

Genedata について
Genedata は、サイエンス、テクノロジー、AI の各分野における幅広い専門知識を組み合わせた革新的なソフトウェアソリューションにより、バイオ医薬品における「データ」を「インテリジェンス」に変えます。世界中の大手バイオファーマ企業や最先端のバイオテクノロジー企業とともに 25 年以上にわたって歩み続け、複雑なデータワークフローのデジタル化・自動化を実現しています。
Genedata ソリューションの高度な解析と AI は、データ駆動型の意思決定を可能にし、創薬初期段階から開発、そして臨床試験にいたるまで、イノベーションを推進し、投資対効果（ROI）を最大化します。
www.genedata.com/jp/
LinkedIn | YouTube

Danaher について
Danaher は、ライフサイエンスと診断の分野で世界をリードするイノベーターとして、科学技術の力を加速させ、人々の健康向上に貢献することに取り組んでいます。業界をリードする各事業会社が連携するエコシステムを通じて、お客様とともに、科学および臨床における最も複雑な課題の解決に取り組んでいます。これにより、新たなイノベーションを研究・発見の段階から実用化・提供まで、より迅速に進め、それを必要とする患者さんに、いち早く届けられるよう支援しています。
Danaher Business System を基盤として、先進的な科学技術と実績あるイノベーション創出力を活用することで、より迅速で正確な診断を可能にするとともに、人生を変える治療法の創出・開発・提供に必要な時間、コスト、リスクの低減に貢献しています。継続的な改善と卓越した業務運営を通じて、世界各地の約 60,000 人の従業員は、持続的な価値を生み出し、世界中の人々の生活の質を向上させるとともに、より健康で持続可能な未来の実現に取り組んでいます。
詳細は、http://www.danaher.com をご覧ください。

Contact
Jana Hersch
Genedata
Public Relations
pr@genedata.com

免責事項
本プレスリリースに記載されている将来の計画、事象、あるいは業績に関する記述は、リスクや不確実性を伴う将来予測に基づいています。これらには、契約解除、開発リスク、競争要因、顧客依頼、製品・サービスへの需要、当社の製品・サービスに対する市場の発展などの不確実性によるリスクが想定されます。将来予測は、本プレスリリースの発行日現在における記述であり、過度に信頼すべきではないことをご留意ください。当社は、本プレスリリースの発行日以降に発生した事象や状況、または予期せぬ事象の発生により、将来予測に変更があった場合でも、その修正点を公表する義務を負うものではありません。

記載されている製品名およびサービス名は、各社の商標です。